

## 平成26年度 県土整備部環境配慮事例報告書

## 写真等

事業主管課	道路総局道路整備課
実施機関	県土整備部(美波)

### 【事業の概要】

事業の種類	道路の整備	一般国道、県道、街路
事業箇所名	海部郡	
事業の規模・状況	2 km	小規模事業a 計画段階

### 【事業の目的及び概要】

南海トラフの巨大地震による津波の影響で当該地区が孤立する恐れが高いことから、避難路及び復旧・復興に資する道路として整備する。

### 【検討した環境要素の一覧及びRDBの有無、モニタリングの要否】

大気	環境	水環境	地形・地質等	生物多様性	景観	自然とのふれあい	文化財	廃棄物	温室効果ガス等	RDB種の有無	モニタリングの要否
				○						○	

### 【特に配慮した環境要素と検討事項】

植物相調査を春季・夏季に加え秋季も実施した。特に、腐生ラン、溜池の水生植物、水田の湿生植物に留意して調査を行った。その結果、保全対策が必要と判断された希少種(ヒメナミキ)について、近隣地へ移植による保全を行う。個体を採取し、一部を試験移植、残りを保管する。保管個体の移植時期は、試験移植の経過を観察後H27の10~11月あたりが適当。移植が成功しなかった場合は、生育地に残っている個体を再移植する。

その他確認希少種について、工事区域外の種の保全策は必要ない。回避によって生育地が確保できる種は経過を確認する。魚類調査を夏季に実施した。橋脚施工時に、濁りの発生対策や河床を平坦にしないことで、魚類に対する特段の保全策は必要ない。また、山地溪流に分布が確認されたヤマトヌマエビについて、計画道路設置による海への回遊が分断される恐れがあるので、横断方向に水路構造物を設け、表面を粗く仕上げることで改善が期待される。

### 【目標に対する達成状況】

経過観察中

### 【検討事項に対する評価】

実施者	環境調査の実施に際して、環境アドバイザーの指導のもと調査を実施するとともに、保全策等について意見を頂いたところである。今後、詳細設計、着工と進めるに際し、環境アドバイザーからの意見を反映させることで、各種の保全が図られるもの考える。
-----	--



ヒメナミキ採取状況



採取個体



ヒメナミキ移植作業状況



ヒメナミキ移植